各委員御意見

委員名	御意見
委員１	新市庁舎の更新には賛成する。 ただし、広大な現市庁舎敷地（約 18,000 ㎡）ではなく、狭隘である コミュニティひろば（約 7,500 ㎡）での更新には、多くの疑問や懸念が残る。 ○ 建蔽率の高さにより、余剰地が少なく、緑地帯・広場・ロータリー及び身障者・緊急車両等の駐車場所などの本来備えるべき機能の確保が難しいこと ○ 立体駐車場に対する市民の不安感や忌避感 ○ 周辺道路の渋滞に対する懸念等々 ワークショップやパブリックコメントに参加する市民は、ほんの一握りであり、その他多くの市民は、不安を抱きつつも発信できる場が乏しい。 そのような市民の声を受け止め、市政に反映させるのが議員の役目 である。 上記の理由から、今後の熊谷市庁舎整備基本計画について、市民の不安や懸念が払拭されることを条件として、現時点では、同計画について了承とします。 向こう８０年間使う新市庁舎です。また、現市庁舎も免震工事を実施したことから、来庁者及び職員の安全は確保できている施設です。更新場所の見直しによる数年の後戻りは、将来に向けた準備期間です。前広な検討を要望します。
委員２	中心市街地活性化の起爆剤となるよう、しっかり取り組んで頂きたい。
委員３	今までの議論が反映されており、特に問題ないものと思います。
委員４	拝見した限り特に修正すべき点はありませんでした。
委員５	基本計画は了承する。今後に向けて 2 点ほど意見を述べる。 ABW をはじめとする新しい働き方の導入は、施設・設備の整備だけでは効果を発揮しない。職員一人ひとりの意識と行動の変革を伴うものであることから、導入に向けたチェンジマネジメントの実行体制を庁内にしっかりと構築することを求めたい。 新しい働き方の定着と継続的な改善を図るため、必要なデータを収集・分析し、PDCA を回す効果検証の仕組みを併せて検討されたい。
委員６	本委員会に参加させていただき、意見を述べる機会をいただいたことに感謝しております。 より建設的に議論へ貢献できるよう精一杯努めていきたい気持ちでおります。引き続きよろしくお願いいたします。
委員７	原案は変わらないと思いますが、これからの設計・デザインなど細部については、県と合築の良いところと、市民からの意見をより多く反映した市役所にしていただきたいと思います。